

2003年12月1日 No.70

全国一般全国協

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤一郎

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

死ぬな！殺すな！行かせるな！「自衛隊イラク派兵反対」

使い捨てはゴメンだ！「中小・非正規・外国人労働者に権利を」「均等待遇を私たちの手で」



11.19 大塚本社前行動

徹底追求。夜は、総評会館で「死ぬな！殺すな！行かせるな！」
自衛隊イラク派兵反対」「使い捨てはゴメンだ！中小・非正規・外国人労働者に権利を」「均等待遇を私たちの手で」を掲げ集会。争議の勝利と反戦行動への決意を新たにして、行動を終えた。



11.25 由倉本社前行動

11.19 秋の共同行動を闘う

反戦、反リストラの声が東京を駆けめぐった。まずは大塚製薬。本社前での抗議集会。前日に続いた行動となつた。続いて、カメラのニシダの倒産責任を問うて東京スター銀行を弾劾！旗を掲げてそのまま厚労省へ！労働者保護はどうへやら使い勝手の良さのみ追求する厚労省を糾弾！

午後からは、期限の定めのない雇用契約を突然有期雇用に…。二万人リストラを発表したソニーに抗議。支店長の息子の裏口入学に千五百万円!!みずほ銀行の腐敗を追及。行動の最後はトヨタ本社。二百三十三名の労働者の首切り。そして刑事弾圧。フィリピン最高裁判の決定も無視するトヨタを

由倉・行政訴訟 東京高裁 全面勝利判決である これを契機に全面解決を闘いとろう

11月25日、東京高裁は由倉・行政訴訟に対し控訴棄却（組合側全面勝利）の判決を言い渡した。判決後、支援共闘、中小ネット、全国協など支

訴訟を起こし、地裁でも敗北

すると、高裁に控訴する始

末だった。しかし、東京高

裁では、証拠調べをするま

でもなく、1回の公判で結

審となり、11月25日、組合

側勝利の判決となつた。

最高裁が可能性として残

されているが、そこでは、

違憲審査やよほどの法的齟

齟がないと不受理となる。

事実上、組合の勝利が確定

したと言える。

会社は東京総行動などの

参加者に対する有給休暇事

後取り消しを行なうなど、

組合敵視を止めていない。

高裁勝利判決を契機に、争

議の全面解決に向け全国協

の力を集中し吉倉工業労働

組合を支援していく。

第8回各県代表者会議

日時：2004年1月18日(日)

午後1時～

場所：新橋福祉会館

全ての闘争に 勝利するため 年末カンパを

国労組は、結成四〇年を迎える歴史ある組合です。会社エーシー・ニールセン・コーポレーションでは、競合社との競争のために様々なストラテジカルな戦略を実行してきましたが、二〇〇〇年十二月、関連会社との統合を機会に一方的に成果業績賞金制度を導入しました。

組合は新賞金制度に一貫して反対していましたが、会社は唯島さん(東京分会委員長)、小津さん(東京分会財政部長)、村松さん

のレッテルを貼られて賞下されたニールセンの仲間の「賞金返還請求」裁判が、いよいよ証人尋問を迎えます。

偽・疑・嘘・汚の大塚糾弾！賄肉扱い許さん！

大塚製薬労働組合 執行委員長 別宮 裕一郎

を企んでいます。

島県内にある大塚アツセイ研究所の営業譲渡に伴い、従業員112名に対しても、全員転籍した。嫌なら8月で退職だ」と雇用関係を一方的に打ち切る二者択一を強要し、退職届を書かせました。

大塚製薬に労働組合を結成し退職届の白紙撤回を要求していますが、昨年9月、組合員3名は解雇され、現在も毎朝の就労闘争が続く中、東京地裁で地位確認本訴、中労委で不当労働行為再審査を行っています。

会社は、9人の弁護士を雇って組合を潰そうとしています。更に、樋口社長は従業員を『贅肉』と呼び、今後も大幅な首切り合理化

(全国労組委員長)の賃金を成果不良として不適に引き下げました。(就業規則の不利益変更です)

この制度では、従業員の職務を六段階に分類し、各

合意なき降給問題を裁判所に提訴 ニールセン労組

ニールセン東京分会・全

職務での賃金幅の中で、毎年の各自の業績評価によって賃金が上がったり下がったりします。制度によれば半分以上の人人が業績不良として賃金が下げられてしまふものです。労働組合の資金交渉を無力化する制度です。

韓国シチズン労組、闘争に勝利

今年1月から企業閉鎖反

対闘争を闘ってきた、韓国シチズン労組は、10月28日、韓国昌原市において、会社側と闘争終結の協定書に正式調印した。10ヶ月の間、現地工場を占拠し、日本に遠征団を送り、闘い続けてきた74名の組合員の「籠城

闘争」は勝利的に終結、10月31日馬山・昌原地域の労働組合などの支援組織とともに現地工場内で報告集会を開催し籠城闘争の終結を確認した。協定には会社の謝罪を協定文書で明記、委員長など逮捕者への会社による嘆願書の提出、会社個人への損害賠償請求などの解除、解決金の支払い、組合の工場占拠の解除と明け渡しが明記されている。企業再開の要求こそ実

現できなかつたものの、それをカバーする内容の解決となり当該組合員の全員投票は95%以上の賛成で勝利を確認、金属連盟や支援組織も勝利と闘争終結を喜んだ。協定調印後、現地工場内で李社長と佐藤副社長が組合員全員集会出席、廃業とその過程で生じた不幸な出来事に対して謝罪を表明、委員長の早期釈放に向けて努力することを約束した。このような、黒字廃業、海外移転の攻撃は国内外問わず、これから多発する見られる。



現地工場占拠中の韓国シチズン労組員

全港湾ストライキに連帯 共闘深める



10.23スト 関門支部決起集会であいさつするユニオン北九州本村委員長

関門支部ストライキ支援 ユニオン北九州 岡部 康

10月23日早朝、全港湾は地方港の規制緩和に反対して始業時から2時間の时限

ストライキに立ち上りました。

北九州では、全港湾の関門支部がスト突入集会を門司港の観光地の真ん中で行いました。

同じ業種を担う交通運輸支部の仲間や、北九州支部も結集しました。組合からはトラックでライキ支援を取り組みました。集会では、海員組合や政

200名以上の労働者が結集し、集会は盛り上りました。

三単産共闘の取り組みとしてユニオン北九州もストライキ支援を取り組みました。

200名以上の労働者が結集し、集会は盛り上りました。

党の発言とともに、ユニオン北九州の本村委員長も全國一般を代表して連帯の発言を行い、「規制緩和はすべての労働者の雇用と生活を

破壊するものだ。全港湾の皆さんとともにたたかう」と力強くアピールし、地域における連帯と共闘を深めました。

小名浜支部ストライキ支援 いわき自由労働組合 桂 武

10月23日地方港の規制緩和に反対する全港湾の全国統一ストライキは、東北地方小名浜支部においても一

部中小運輸労組も巻き込んで貫徹された。小名浜港6号埠頭詰所で行われた決起集会には、海員組合・国労・全国一般全

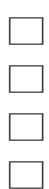
国協の仲間が支援に駆けつけた。

全港湾の永瀬副委員長は、戦争と生活破壊でしかない小泉改革を糾弾し、港湾労

働者に向けられた規制緩和攻撃を断固として粉碎しようと訴えた。挨拶にたった国労の仲間は、規制緩和が団結する港の労働者に向けた解体攻撃であることを、国鉄闘争の教訓を交えて明らかにした上で、連帯の檄を飛ばした。

全国一般の仲間は、職場を守り仲間を守り家族を守る全港湾の決起は、働く仲間の希望であると挨拶し、共に歩むことを誓った。

アジア労組連帯会議 全労協を代表して中岡副議長参加



11月9日、韓国民主労総の労働者大会が開催され日本から多くの仲間が参加した。この労働者大会は1

970年11月13日、朴軍事政権の下、無権利で過酷な労働を強いられていた労働

者の現状を改善せよと焼身決起したチヨン・テイル氏の意志を引き継ぎうと始められ、毎年11月13日を前後して開催される韓国労働者の総決起大集会である。

今年は労働者大会に先立つ

て民主労総呼びかけによつてアジア11カ国、地域から21人が参加して「新自由主義と軍事主義」と対決するアジア労組連帯会議が開催され、日本からも全労協と全労連、全港湾が参加した。また11月22日（東京）、23日（大阪）にはチヨン・テイル氏のオモニ（母親）のイ・ソソンさんと妹のチヨン・スノクさんを迎えて

チヨン・テイル評伝購入希望者は本部遠藤まで連絡ください。
定価2,800円を2割引であっせん



チヨンテイル烈士の墓参りをするアジア労組連帯会議参加者

小さくても存在感のある組合をめざす

10月25日・安倍川製紙労組が35回定期大会



かって会社の作った安倍川新労組は、同じ紙パ連合の新富士製紙労組と統合し、500人を超える組合に、他方私たちは20人の組合です。

さて、会社の作った安倍川新労組は、同じ紙パ連合の新富士製紙労組と統合し、500人を超える組合に、他方私たちは20人の組合です。

私たちには週三回発行している「伝書鳩」と、定年後も組合にとどまり、地域の活動などで信頼を得ている特別組合員がいます。この特徴も生かしながら、存感ある組合として職場の信頼を得たいと思います。

王子製紙が経営に乗り出してから30年弱、新聞紙や上質紙などの大量生産では利益をあげるノウハウはあるものの、小ロット多品種の特殊紙の経営では投資の失敗など続けたため、安倍川製紙は今年から新富士富士製紙の静岡工場となりました。

王子製紙が経営に乗り出してから30年弱、新聞紙や上質紙などの大量生産では利益をあげるノウハウはあるものの、小ロット多品種の特殊紙の経営では投資の失敗など続けたため、安倍川製紙は今年から新富士富士製紙の静岡工場となりました。

ようとしている静岡工場の再構築に「組合の立場」で積極的にかかわっていく「闘う提案型」を確認しました。

した。

雇用などを確保するため、経営をしつかりさせること、しかし、働くものの権利のために原則のない譲歩をせず、あらゆる方法で闘う。そうでなければ、雪印食品のように、会社と「心中」することになりかねない危険もあるからです。静岡工場の再構築の反面、富士地区の工場への転勤問題など、職場には多くの問題があります。

全国の仲間とともに前進します

10月19日・自立労連が24回大会



2003年10月31日（金）午後6時より、本部事務所2F大会議室において、嘉飯山合同期大会を開催しました。40回大会を迎えた。40回大会を迎えることは、感慨深いものがありますが、昨年の39回大会からの組合員の減少は50名弱で（脱退・定年・自己都合等）人材的、財政的にも厳しさを

10月31日・嘉飯山合同労組が40回定期大会

人間らしい労働と生活を守るために、一致団結し共に闘おつ！

1月のタカラズネ倒産以降、労働債権確保・営業譲渡先への最大限再雇用を確保する交渉、各地での退職者分会の発足、新会社との団交、事務所の移転と、未経験の手探りが続く中で、報告され、労働組合の必要性を改めて確認し、企業内外を貫く運動の前進に向けて方針を探りました。

命・健康・生活の確保、戦争に反対し、全国の皆さんと共に前に進みます。

大会は、中岡委員長が冒頭のあいさつ。「現在の日本は戦争への道をひた走り、労働者を取り巻く状況は、非正規雇用の拡大など厳しさをまじめている。社会全体が歴史的な転換期をむかえる今、ユニオンの活躍が大きな力がなっている。組合員一人一人が力を合わせ、現状を打破していく」と話した。

失業の広がりの一方、職場での過重労働。過労死は中高年ばかりか、若者にまで広がっている。働く者の雇用と命・人権を守るために、存在感のあるユニオン作り

炳りで民事再生法をかけた会社、リストラの申し入れ等、困難な問題の山積みで、今は一番の勝負時、また今こそ組合の意義が求められています」と実感しています。

大会では、統一と団結を強化し、春闘、一時金闘争勝利、首切り合理化を阻止し、解雇退職の代議員と再雇用在職の代議員が参集しました。人員が半減し労働負荷のかかる新会社の職場状況、失業者の困難な求職状況が出来ました。

寄稿
10月26日・きょうとユニオンが16回定期大会
決意を新たに組織化挑戦を確認



にむけて、組織化をさらに進めようと皆で確認しました。

大会最後、今本組合員が祝句を披露

十六年 紅葉燃ゆ闘志高めつ